

めいいか

令和5年1月31日

文京区立明化幼稚園

年長児からの引き継ぎ

副園長 池田 克子

今年は強い寒波の襲来もあり、寒い日が続いた1月でしたが、子どもたちは戸外で、鬼遊びやボール遊びをしたり、一輪車や縄跳びに挑戦したりと、体を動かして元気に遊んでいます。保育室では、かるたやこま回し、羽根つきやけん玉などの伝承遊びを友達と一緒に繰り返し楽しんでいる姿が見られています。学年ごとに第十中学校の校庭や明化小学校の屋上をお借りして凧揚げも楽しみました。自分で作った凧が風を受け、空に上がっていくのを見ながら嬉しそうに走る子どもたちの笑顔がとても印象的でした。快く、校庭や屋上などを貸してくださった近隣の小中学校の方々に感謝申し上げます。

3学期に入ると、幼稚園では進級・進学に向けて、今まで年長児が行っていた様々な仕事を年中児に引き継ぐ活動が始まります。先日、年長そら組が年中つばめ組に誕生会の司会の仕方を教えてくれました。司会の順番ごとにそら組とつばめ組が一緒のグループになり、丸くなって互いに自己紹介をし、司会で話す言葉やお辞儀の仕方を優しく教えてくれました。言葉がすぐに覚えられないつばめ組の子どもに「もう一回教えてあげるね」「ゆっくり言ってみようよ」と声をかけたり、お辞儀をする時にタイミングを合わせられるように小さな声で「せーの」と合図を出してくれたりなど、年長児が優しく年中児を気遣う場面がたくさん見られました。その後、言葉を覚えたグループから実際に前に出て本番のように司会を試みたのですが、緊張から動けなくなってしまったつばめ組の子にそっと手をつないで誘導するそら組の子ども姿が見られました。1月の誕生会当日は、とても上手に司会をすることができました。司会の引き継ぎを通して、年中児は優しく教えてくれた年長児への頼もしさを感じたのではないのでしょうか。また、年長児も年中児に分かるように伝えることや相手を気遣いながら進めることを経験し、大きな自信につながったのではないかと思います。2月の誕生会では、年長うみ組が年中いるか組に司会の引き継ぎを行います。

さて、今月は年少組、年中組の発表会があります。12月の年長組の発表会を見て刺激を受けた子どもたちは、今度は自分たちがお家の人に見せたいと張り切って取り組んできました。保護者の皆様にも、表現活動の一端を見ていただく中で、お子さんの成長を感じていただけたら幸いです。



自己紹介をして司会の言葉を
教えてもらいました



覚えた司会の言葉を
一緒に練習しました



誕生会当日の司会の様子